

このリリースに関する連絡先:

三島祐子
広報担当アシスタントマネージャー
03 6271 9408
yuko.mishima@bakermckenzie.com

ベーカーマッケンジー、不二製油グループによる米・Blommer Chocolate社を7億5,000万米ドルで買収する案件に関して法的アドバイ スを提供

【東京発 2018年11月22日】ベーカー&マッケンジー法律事務所（外国法共同事業）（所在地：東京都港区、代表パートナー：ジェレミー・ピッツ、以下「ベーカーマッケンジー」）は、油脂などの業務用食品素材のリーディングメーカーである不二製油グループ本社株式会社（所在地：大阪市北区、代表取締役社長：清水洋史）による、米国のBlommer Chocolate社の買収において法的アドバイスを提供しました。Blommer Chocolate社は、北米最大かつ世界第3位の業務用チョコレートメーカーです。

ベーカーマッケンジーでは、東京事務所のコーポレート／M&Aグループのパートナーである Jeremy White を本件のリードパートナーとし、シニア・アソシエイトの富本聖仁、アソシエイトの Olivia Nomura が本案件に携わりました。その他、高田昭英（東京事務所コーポレート／M&Aグループリーダー）、Craig Roeder（シカゴ事務所）、Nicole Puza（シカゴ事務所）、Cathy Qi（トロント事務所）、Andrew Lu（上海事務所）の他、ワシントンDC事務所、ニューヨーク事務所、及び香港事務所など、ベーカーマッケンジーのグローバルネットワークを活かし、多くの専門家が携わりました。

本案件のリードパートナーである Jeremy White は下記のようにコメントしています。「このような多数の法域に跨る複雑な案件において、世界各国オフィスの専門家との緊密な連携のもと、不二製油グループに法的支援をご提供できたことを非常に嬉しく思います。」

本件における責任者



ジェレミー・ホワイト
パートナー、コーポレート／M&A グループ
03 6271 9483
jeremy.white@bakermckenzie.com

主に日本企業の海外進出案件及び外国企業の日本進出案件を手掛ける。ビジネスの視点を備えたアドバイスや、複数の国や地域にまたがる取引における経験が高く評価され、Chambers 及び Legal 500 において「主要な弁護士」に選出されている。クロスボーダーM&A、事業部門の売却、スピンアウト、合弁事業等に関わる実務に精通し、多国籍企業間の提携からグリーンフィールド投資まで、幅広い案件を手がける。

ベーカーマッケンジーについて

ベーカーマッケンジーは、世界を舞台とする厳しい競争に立ち向かうクライアント企業を支援します。私たちは、様々な国や幅広い業務分野に関わる複雑な法的課題を解決します。65年以上にわたり独自の文化を育んできた当事務所では、13,000人の所員が現地の市場を理解し、複数の国や地域に跨る案件を巧みに遂行することができます。信頼のおける同僚・友人のように、互いに協力して案件に臨むことで、クライアント企業と信頼を築きます。

www.bakermckenzie.com

ベーカーマッケンジー法律事務所(外国法共同事業)は、ベーカーマッケンジーの東京事務所として1972年に開設されました。日本法に関する卓越した知識、経験とともに、グローバル・ビジネスに関する実績とノウハウを兼ね備えた外国法共同事業を営む法律事務所として、日本最大級の規模を有しています。当事務所は、ベーカーマッケンジーのメンバーファームとして、国内外の金融法務、M&A、企業法務、独占禁止法、大型プロジェクト、知的財産、国際税務、訴訟・仲裁、労務、環境、製薬、不動産関連等について、総合的かつ専門的な法務サービスを提供しています。

www.bakermckenzie.co.jp

Follow us on   

ベーカーマッケンジー法律事務所(外国法共同事業)はスイス法上の組織体であるベーカーマッケンジーインターナショナルのメンバーファームです。ベーカーマッケンジー法律事務所(外国法共同事業)及びベーカーマッケンジーインターナショナルのその他のメンバーファームは、日本においては弁護士法人ベーカーマッケンジー法律事務所を通じて業務を提供します。専門的知識に基づくサービスを提供する組織体において共通して使用されている用語例に従い、「パートナー」とは、法律事務所におけるパートナーである者またはこれと同等の者を指します。同じく、「オフィス」とは、かかるいずれかの法律事務所のオフィスを指します。